

2022年度近江兄弟社中学校 学校評価シート

本年度の重点目標(概要)

「一人ひとりを大切に教育」「落ち着いた学習環境の確立」は本校教育の公約です。生徒たちが安心して様々な取り組みができる、挑戦ができる学習環境、生活環境を整えるよう全教職員で取り組む。部・学年などそれぞれの観点から環境作りの具体的な目標を設定し、全教職員が協力して生徒たちの学校生活を支える。

2021年度は新学習指導要領の実施となる。探究型授業の展開を図り、より主体的、協働的な学習活動を意識して進める。ICT教育の実践により生徒のより主体的な学習の推進と教職員の授業力・指導力アップを図る。さらに検討を重ねてきた「中学校教育改革」について教職員が一致して2022年度実施に向け、具体的な内容の検討を進める。

コロナ禍の新しい生活様式は2020年度の学校生活の中で随分定着してきた。生徒たちは、感染症対策を取り、自身の健康を守ること、周囲の人に配慮すること、そして感謝することを学んだ。2021年度はさらに身につけた習慣や意識を土台として、教育活動をより安心・安全のために進め、工夫し、できることの質の向上を図る。

領域	番号	設 問	自己評価	総合評価	備考
1 学校経営	1	学校の教育方針や教育目標について理解が得られるような取り組みをしている。	A	A	教職員・保護者
	2	学校の教育方針や教育目標が実践できるよう、教育活動に取り組んでいる。	A	A	教職員・保護者
2 学習指導	3	良好な学習環境維持につとめている。	A	A	教職員・保護者
	4	PCやプロジェクターやICTを利用してわかりやすく資料等の提示をしている。	A	A	教職員・生徒・保護者
3 生活指導	5	基本的な生活習慣の確立や挨拶などの指導を自ら進んで実践している。	A	A	教職員・生徒・保護者
	6	生徒の規範意識を育む指導を行っている。	A	A	教職員・保護者
	7	生徒の問題行動や生徒の小さな変化の早期発見・早期対応をしている。	A	A	教職員・保護者
4 進路指導	8	生徒個々に応じた進路選択ができるような進路指導につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	9	面談等で生徒の学力分析を行い、面談などで進路に向けた指導を行っている。	B	A	教職員・生徒・保護者
5 特別活動	10	生徒会活動を通じて自主自律の精神を育成すると共に生徒の自覚や連帯感を育てている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	11	生徒会行事の意味やねらいを理解し生徒の意識高揚につとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
6 人権教育	12	いのちを大切に教育、豊かな心や人権が尊重されるクラスづくりや学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	13	いじめや暴力のない集団づくり、学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・生徒・保護者
7 環境教育	14	清潔な環境づくりのため清掃活動につとめ、美化意識を向上するため努力している。	A	A	教職員・生徒・保護者
	15	生徒に環境について考えさせたり、リサイクル運動などの指導を行っている。	B	A	教職員・生徒・保護者
8 事務・管理	16	個人情報の保護や管理に注意を払い、文書管理等を適切に行っている。	A	A	教職員
	17	教育に関わる施設・設備の保全や学校環境の整備につとめている。	A	A	教職員
9 その他 学校の取り組み	18	教育活動をホームページや学校だより・クラスだより等を通してわかりやすく伝えている。	A	A	教職員・生徒・保護者
	19	保護者からの連絡や相談などに丁寧に対応するようつとめている。	A	A	教職員・保護者
	20	PTA活動等に積極的に取り組み、保護者が授業・行事などに参加できるようつとめている。	A	B	教職員・保護者
	21	緊急事態宣言下において分散登校やオンライン授業など教育支援に取り組んだ。	A	A	教職員・保護者
	22	生徒たちが安心して学校生活が送れるように、新型コロナウイルス感染症予防を行った。	A	A	教職員・保護者

- (注) ・評価 2月 学校の教育目標にもとづいた評価項目の公表
 3月 評価の実施(2月までの教育活動に対する評価)
 9月 総合評価の公表(年間の教育活動ABCDの4段階評価で示す。)
- ・評価者は教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある。)
- ・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。